

図書館コンシェルジュ

2016（平成28）年度
活動報告書

2017年3月

島根大学附属図書館

正課PSP報告書

図書館コンシェルジュ 2016（平成 28）年度活動状況報告

1 目的

この取組は、学生の図書館利用を学生自身が支援することにより、図書館を学生が学びあう場として、また、学生が学生を支援したり、図書館の業務の一部を担うことによるキャリア形成支援の場として図書館活動の再構築を図ろうとするものである。この活動により、図書館利用を活性化させ、学生の学術情報を使う力、いわゆる学術情報リテラシーの育成を支援するとともに、サポートする側に立つ学生のキャリア形成の支援を目的とする。

2 これまでの経過

2010（H.22）年度	・教育改革推進事業《島大 GP》に採択される ・後期から活動スタート
2011（H.23）年度	・通年で実施 ・学生協働交流シンポジウム（第 1 回・会場：山口大学）を開催
2012（H.24）年度	・正課ピアサポート・プログラムの一つとなる ・図書館の改修工事のため、前期のみ活動 ・学生協働交流シンポジウム（第 2 回・会場：島根県立大学）を開催
2013（H.25）年度	・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年） ・学生協働交流シンポジウム（第 3 回・会場：島根大学）を開催
2014（H.26）年度	・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年） ・学生協働交流シンポジウム（第 4 回・会場：山口大学）を開催
2015（H.27）年度	・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年） ・学生協働交流シンポジウム（第 5 回・会場：梅光学院大学）を開催
2016（H.28）年度	・正課ピアサポート・プログラムとして継続実施中（通年）
	・学生協働交流シンポジウム（第 6 回・会場：香川大学）に参加
	・全国学生協働サミット（第 1 回・会場：パシフィコ横浜）にて登壇
	・しまね大交流会 2016（第 2 回・会場：くにびきメッセ）に参加

3 図書館コンシェルジュの活動内容

(1) 図書館サービス改善のための自主企画活動

○コンシェルジュの発案による様々な企画の実施

eg. （広報チーム）月刊広報誌 LiMe 編集・発行

（展示・グッズチーム）ブックコンパス、松江市立図書館からの団体貸出

（イベントチーム）オープンキャンパス企画、ラーコモカフェ、松江市立図書館での絵本読み聞かせ、読書会、留学生サポート

(2) 正課外での図書館利用サポート

○サービスカウンター（授業時間割に対応した 1 日 5 コマに 1～2 名が担当）

○図書館ツアー（オープンキャンパス時など随時）

⇐ 正課 PSP による予算支援

(3) 学生協働交流シンポジウムの参加

(4) 全国学生協働サミット参加・登壇

(5) しまね大交流会参加

4 2016 年度応募者の状況

学年別内訳

学年	人数
1 年生	3
2 年生	17
3 年生	6
4 年生	1
修士課程 1 年	1
合計	28

所属別内訳

所属	人数
法文学部	16
生物資源科学部	9
教育学部	1
総合理工学部	2
合計	28

5 2016 年度活動経過

3 月	4	2016 年度図書館コンシェルジュ募集開始
4 月	1	新入生向けコンシェルジュ活動紹介
	12	読書会
	13	新規応募者向け説明会(1)
	19	新規応募者向け説明会(2)・読書会
	20	4 月定例ミーティング兼新規応募者向けオリエンテーション・ただ日
	26	読書会
	27	ただ日
5 月	9	前期利用サポート開始
	10	新規応募締め切り
	11	新規応募者向け説明会(3)・ただ日
	17	読書会
	18	5 月定例ミーティング・ただ日・市立図書館団体貸出選書
	22	絵本読み聞かせ (市立図書館)
	24	読書会
	25	ただ日
6 月	1	新規参加者 (2 年生以上) の利用サポート希望者照会・ただ日
	7	利用サポート希望者照会締切・ただ日
	8	6 月定例ミーティング
	13	ツアー研修・集合研修
	15	ただ日・七夕飾りつけ・図書館すごろく (～7/15)
	22	川津小学校館内ツアー・ただ日
	26	絵本読み聞かせ (市立図書館)
	29	ただ日
7 月	6	ただ日
	13	ただ日・市立図書館団体貸出選書
	15	N1 (小説大賞)
	24	絵本読み聞かせ (市立図書館)
8 月	5	前期活動報告会
	7	7 月・8 月定例ミーティング
	7～8	オープンキャンパス企画 (図書館謎解きゲーム/図書館ツアー/学生相

		談)
9月	15～16	第6回大学図書館の学生協働交流シンポジウム開催（会場：香川大学）
10月	7	学長とのランチミーティング
	19	10月定例ミーティング・シンポジウム報告会
	24～28	カウンター研修・模擬レファレンス
11月	1	後期利用サポート開始
	9	第3回ラーコモカフェ「留学生と語ろう」
	10	全国学生協働サミット参加（会場：横浜）
	16	11月定例ミーティング・市立図書館団体貸出選書
	21	ページをつまむ部屋
	27	絵本読み聞かせ（市立図書館）
12月	7	出雲農林高校館内ツアー
	11	しまね大交流会 2016
	15	江津高校館内ツアー
	21	12月定例ミーティング・ただ日
1月	18	第4回ラーコモカフェ「現役島根大学職員と語る会」開催
2月	1	後期活動報告会

6 図書館利用サポートの実施状況

（1）活動時間割り

授業時間帯		活動時間帯	月	火	水	木	金
1・2限	8:30-10:00	8:30-10:00		-	-	-	-
3・4限	10:15-11:45	10:15-11:45	-	-	-	-	-
昼休み	11:45-12:45	11:45-12:45	△	○	△	○	○
5・6限	12:45-14:15	12:45-14:15	○	○	△	○	○
7・8限	14:30-16:00	14:30-16:00	○	○	△	▲	○
9・10限	16:15-17:45	16:15-17:15	○	○	○	○	○
			-	-	-	-	-

*コマに原則として1名配置 ※ △は、前期のみ ▲は後期のみ ○は前・後期

（2）利用統計

○図書館利用サポート集計 （資料1）

7 2016年度予算執行状況

○2016年度予算執行状況 （資料2）

8 その他の活動

（1）自主企画活動

○全体

- ・オープンキャンパス企画（図書館謎解きゲーム・図書館ツアー・学生相談）
- ・全国学生協働サミット（図書館総合展のフォーラム）
- ・しまね大交流会（島根県立大学松江キャンパス学生図書委員との交流）

○広報チーム

- ・月刊広報誌 LiMe の編集・発行

○展示・グッズチーム

- ・ブックカバー作成 ・館内装飾（テーマ：ハロウィン／冬）
- ・ブックコンパス（図書の企画展示）（テーマ：星と恋／芸術の秋／日本の伝統）
- ・松江市立図書館からの団体貸出図書の貸出サービス

○イベントチーム

- ・絵本読み聞かせ（松江市立図書館）
- ・ラーコモカフェ
- ・読書会（のちに「ページをめくる部屋」に改名）
- ・ただ日本語で話すだけ
- ・BookTravel（都道府県作家展示企画）
- ・N1（貸出図書小説部門の1位を決める）
- ・図書館すごろく

(2) 学生協働交流シンポジウム（第6回）

○目 的：様々な大学の図書館で活動する学生協働スタッフが、それぞれの活動状況を報告し合い、交流することとおして、各大学でのより発展的な活動に結び付けることを目的とする。

○参加状況：2016年度は、中四国地区を中心に全国に参加を呼び掛けて、全国から26大学から約142名が参加して開催した。

○テーマ：考えよう！大学図書館学生協働の未来

○会 場：香川大学

○開催日：2016年9月15日（木）・16日（金）

○主 催：中国四国地区大学図書館協議会

共 催：山口県大学図書館協議会

後 援：島根県大学・高等専門学校図書館協議会

実行委員会：香川大学図書館／徳島大学附属図書館／高松大学・高松短期大学附属図書館

(3) 全国学生協働サミット（第1回）

○目 的：全国の大学図書館における学生協働の取り組みについて学生・教職員が報告・意見交換・交流を行う

○会 場：パシフィコ横浜 図書館総合展

○開催日：2016年11月10日（木）15：30-17：00

○主 催：図書館総合展運営委員会

協 力：大学図書館学生協働交流シンポジウム（中国四国地区大学図書館協議会）他

(4) しまね大交流会（第2回）

○目 的：学生が県内の企業・行政・NPO、大学研究室等が行っている様々な事業や地域活動を知ること、学生のキャリア教育と地元への定着を図ることを目的とする。

○会 場：松江くにびきメッセ 大展示場

○開催日：2016年12月11日（日）13：00-17：00

○主 催：しまね大交流会実行委員会・島根大学

共 催：島根県立大学、島根県立大学短期大学部、松江工業高等専門学校、島根県

図書館利用サポート統計(3年間の比較)

(資料1)

2014年度

年間集計							1				2				昼休み				3				4				5				
							8:30-10:00				10:15-11:45				11:45-12:45				12:45-14:15				14:30-16:00				16:15-17:15				
月	活動可能 日数	A)活動可能 コマ数	B)活動した コマ数	実施率 (B/A)	C)質問 件数	コマ当たり 質問件数 (C/B)	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	月合計
4月	7	35	11	31.4%	47	4.3									0	8	8	16	2	19	2	23	0	7	1	8	0	0	0	0	47
5月	14	64	53	82.8%	115	2.2									0	20	3	23	6	26	3	35	2	38	8	48	0	9	0	9	115
6月	21	97	81	83.5%	186	2.3									2	41	3	46	9	31	8	48	6	62	19	87	0	1	4	5	186
7月	22	101	67	66.3%	116	1.7									0	17	3	20	5	29	6	40	1	36	6	43	1	8	4	13	116
8月	3	14	10	71.4%	18	1.8									2	1	0	3	6	1	2	9	3	0	0	3	3	0	0	3	18
10月	22	84	60	71.4%	112	1.9									2	11	4	17	4	27	13	44	7	19	10	36	0	14	1	15	112
11月	18	84	61	72.6%	99	1.6									1	7	9	17	2	12	10	24	3	27	8	38	2	14	4	20	99
12月	16	76	58	76.3%	108	1.9									4	12	2	18	2	20	6	28	3	16	8	27	2	30	3	35	108
1月	18	87	64	73.6%	102	1.6									1	16	1	18	5	31	6	42	2	21	9	32	1	8	1	10	102
2月	8	38	21	55.3%	30	1.4									0	3	1	4	0	5	2	7	0	7	4	11	0	5	3	8	30
合計	142	645	475	73.6%	886	1.9	0	0	0	0	0	0	0	0	12	128	26	166	39	182	56	277	27	226	72	325	9	89	20	118	886

2014年度は、1コマ目、2コマ目は実施しない。ただし、4月のみ2コマ目を3回実施しているため、昼休みに含める。
A)活動可能コマ数は、シフトの登録(サブを含む)がしてあり、サポート活動が予定されているコマ数とする。

2015年度

年間集計							1				2				昼休み				3				4				5					
							8:30-10:00				10:15-11:45				11:45-12:45				12:45-14:15				14:30-16:00				16:15-17:15					
月	活動可能 日数	A)活動可能 コマ数	B)活動した コマ数	実施率 (B/A)	C)質問 件数	コマ当たり 質問件数 (C/B)	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	月合計	
4月	21	60	32	53.3%	106	3.3									3	32	3	38	3	37	7	47	2	16	3	21	0	0	0	0	106	
5月	18	66	51	77.3%	107	2.1									1	18	4	23	5	31	7	43	3	23	3	29	1	10	1	12	107	
6月	22	88	70	79.5%	135	1.9									2	37	5	44	5	33	6	44	1	24	3	28	1	15	3	19	135	
7月	22	84	59	70.2%	109	1.8									0	23	4	27	8	27	10	45	2	15	8	25	1	8	3	12	109	
8月	3	12	4	33.3%	12	3.0									0	3	0	3	2	5	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	12	
10月	10	40	35	87.5%	64	1.8									2	12	3	17	0	5	3	8	3	13	5	21	2	11	5	18	64	
11月	19	76	60	78.9%	61	1.0									2	20	0	22	2	10	5	17	1	12	3	16	2	4	0	6	61	
12月	18	72	55	76.4%	36	0.7									0	8	0	8	0	6	2	8	2	6	6	14	1	4	1	6	36	
1月	19	76	63	82.9%	46	0.7									0	14	0	14	1	10	2	13	1	9	3	13	0	5	1	6	46	
2月	9	36	19	52.8%	8	0.4									0	0	1	1	0	4	1	5	0	1	0	1	0	1	0	1	8	
合計	161	610	448	73.4%	684	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	10	167	20	197	26	168	45	239	15	119	34	168	8	58	14	80	684	

2015年度は、1コマ目、2コマ目は実施しない。
A)活動可能コマ数は、シフトの登録がしてあり、サポート活動が予定されているコマ数とする。
※5月8日まで研修期間シフト
※2015年度は二人体制は廃止。2014年度は実施回数および時間にサブカウンター分も加算していた。
※8月は3～5日のみ、10月は19日からサポート活動開始。2月は10日現在までの数値。

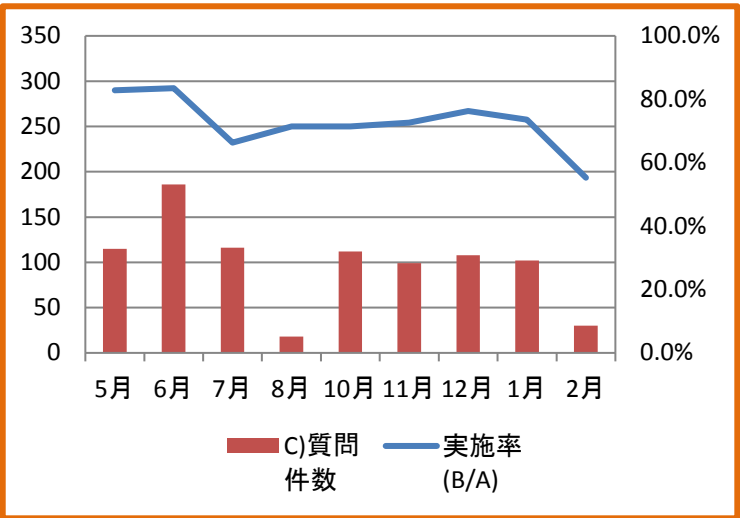
2016年度

年間集計							1				2				昼休み				3				4				5					
							8:30-10:00				10:15-11:45				11:45-12:45				12:45-14:15				14:30-16:00				16:15-17:15					
月	活動可能 日数	A)活動可能 コマ数	B)活動した コマ数	実施率 (B/A)	C)質問 件数	コマ当たり 質問件数 (C/B)	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	月合計	
4月	0	0	0	0.0%	0	0.0								0				0				0				0				0	0	
5月	17	65	59	90.8%	54	0.9								0	8	1	9	7	15	2	24	0	8	2	10	2	8	1	11	54		
6月	22	82	68	82.9%	41	0.6								2	6	2	10	1	7	5	13	0	8	3	11	1	4	2	7	41		
7月	21	76	64	84.2%	46	0.7								0	6	5	11	0	11	3	14	0	5	1	6	1	11	3	15	46		
8月	4	15	13	86.7%	14	1.1								0	1	2	3	1	5	0	6	0	1	2	3	0	2	0	2	14		
10月	8	9	9	100.0%	6	0.7								0	1	0	1	2	1	0	3	0	0	0	0	0	1	1	2	6		
11月	20	64	63	98.4%	98	1.6								0	20	5	25	3	17	8	28	3	27	9	39	0	6	0	6	98		
12月	16	52	46	88.5%	55	1.2								0	4	2	6	2	10	6	18	5	17	6	28	0	1	2	3	55		
1月	18	57	53	93.0%	91	1.7								1	11	7	19	8	21	8	37	2	23	5	30	0	2	3	5	91		
2月	8	25	19	76.0%	23	1.2								0	4	2	6	1	6	3	10	0	4	1	5	1	1	0	2	23		
合計	134	445	394	88.5%	428	1.1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	61	26	90	25	93	35	153	10	93	29	132	5	36	12	53	428	

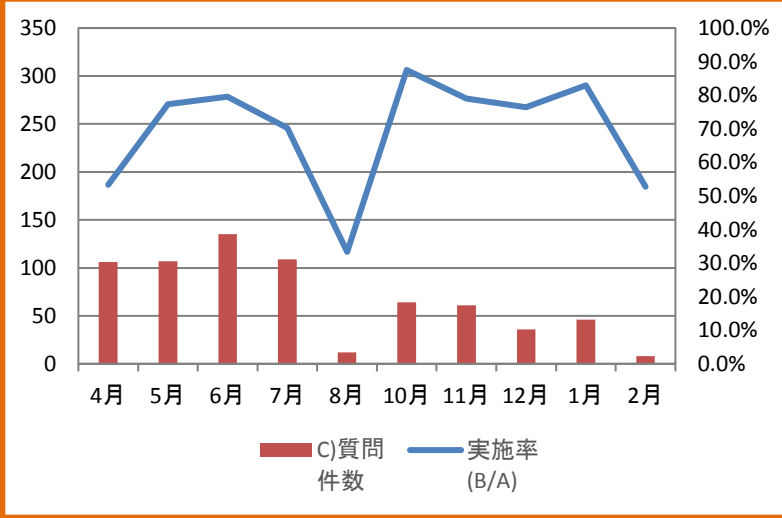
A)活動可能コマ数は、シフトの登録がしてあり、サポート活動が予定されているコマ数とする。
※4月は利用サポート活動を行っていない。
※前期の利用サポート開始日は5月9日、後期の利用サポート開始日は10月20日。また、10月は継続者のみの変則シフト。

図書館利用サポート統計(3年間の比較)

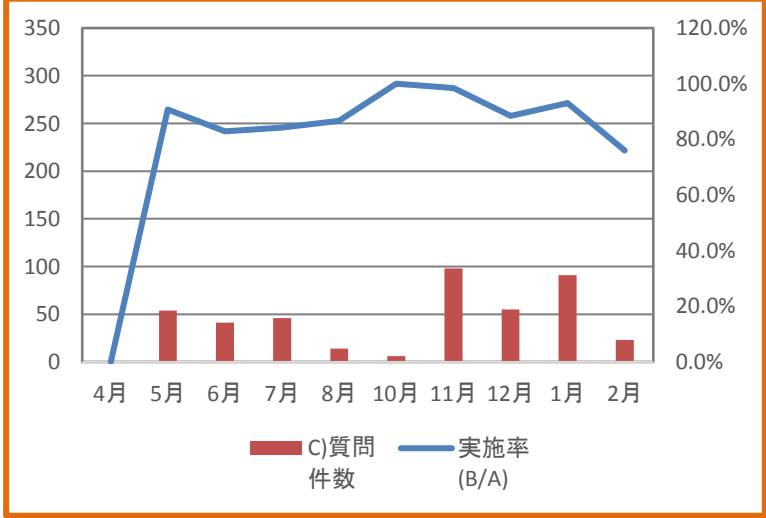
2014年度



2015年度

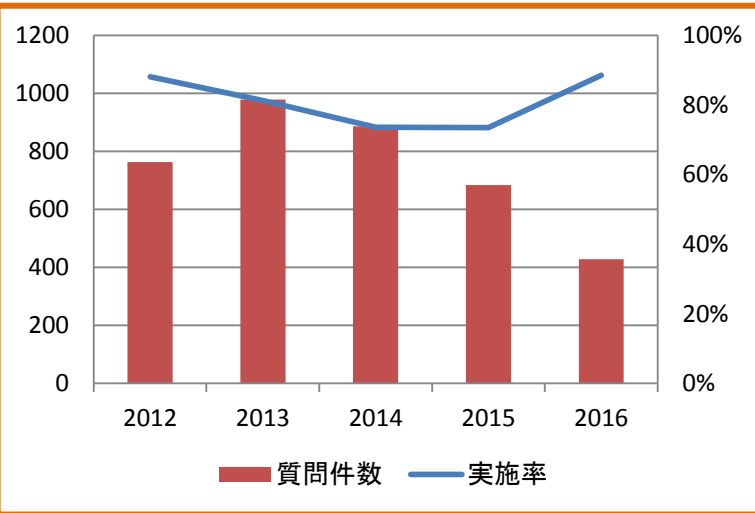


2016年度



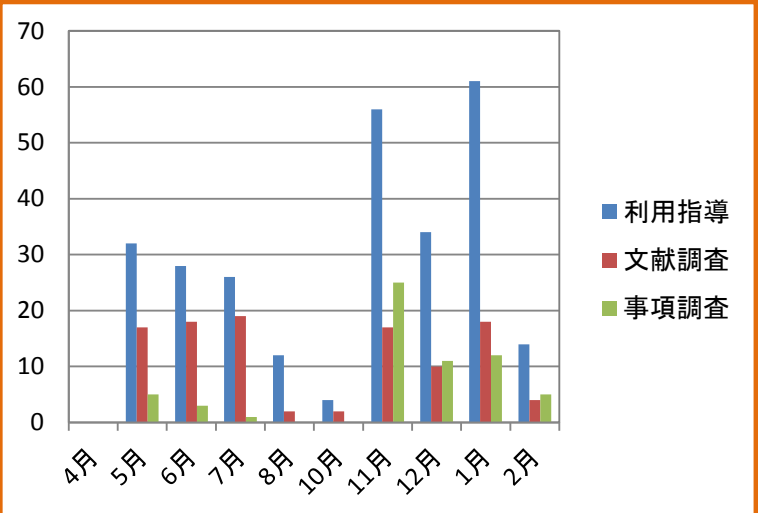
図書館利用サポート利用統計(5年間の推移)

2012～2016の推移

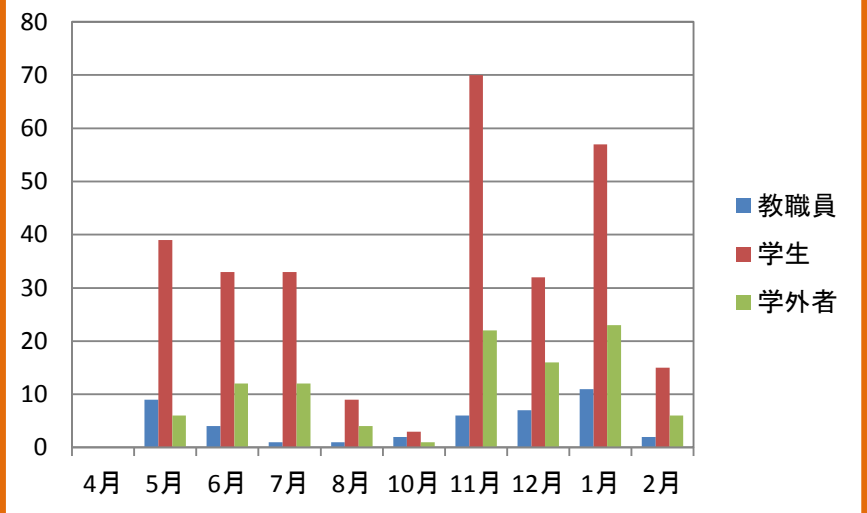


2016年度 質問種別／利用対象者別の件数

(1) 質問種別毎の件数



(2) 利用対象者別の件数



*2012 前期のみ実施

- * 利用指導 図書館の各種利用方法等の指導
(例)・書庫の利用の仕方は? ・工学分野の図書はどこにあるか?
・自動貸出装置の使い方が分からない・OPAC、データベースの検索の仕方が分からない
- * 文献調査 文献の所蔵・所在等についての調査
(例)・この図書は図書館にありますか ・〇〇という論文を探している
・〇〇についての文献(図書・論文)を探している
- * 事項調査 事実や事柄についての調査
(例)・〇〇について知りたい

自主企画活動報告

イベントチーム

ただ日本語で話すだけ

担当 S152034 田中佑弥

目次

- 1、概要
- 2、参加人数
- 3、現状の課題および問題点
- 4、課題の分析
- 5、解決策の提案
- 6、感想

1、概要

▶ 外国留学生向けの日本語講座

日本語を学んでもらうために、留学生と日本人が日本語で交流する。それぞれの国の宗教、政治、経済、サブカルチャーなどを話のメインとする。略称はただ日。

2、参加人数

	留学生	日本人
2016/4/20	10	6
2016/4/27	8	3
2016/5/11	9	8
2016/5/18	5	7
2016/5/25	8	4
2016/6/1	5	7
2016/6/8	4	7
2016/6/15	2	7
2016/6/22	4	5
2016/6/29	3	3
2016/7/6	2	7
2016/7/13	1	7
合計	61	71



3、現状の課題および問題点

- ▶ 外国人留学生の数が減少
 - 回数を重ねるごとに留学生の数が減少している。
- ▶ 話に参加できない留学生の存在
 - 話すのが得意でない方や日本語が流暢ではない方がいる。
- ▶ 日本人が主になっている
 - 外国の方と話せていない

4、課題の分析

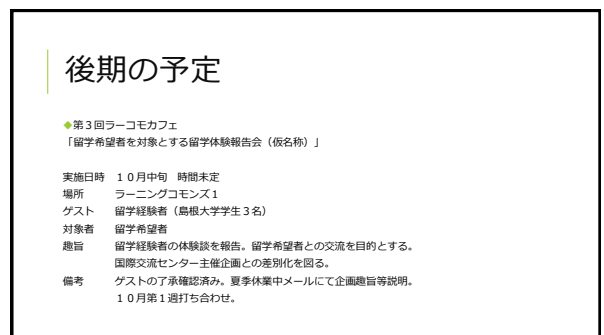
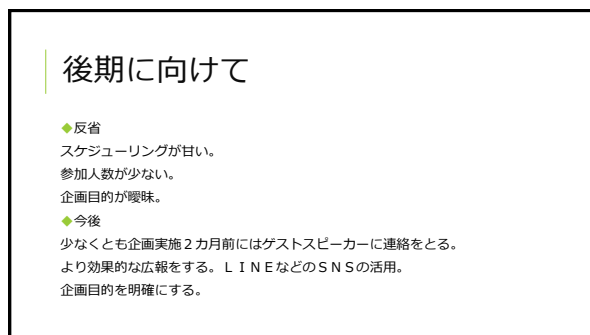
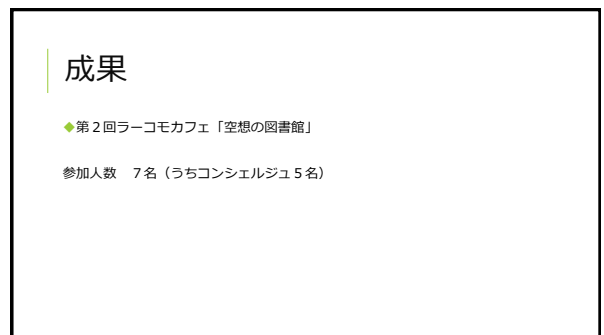
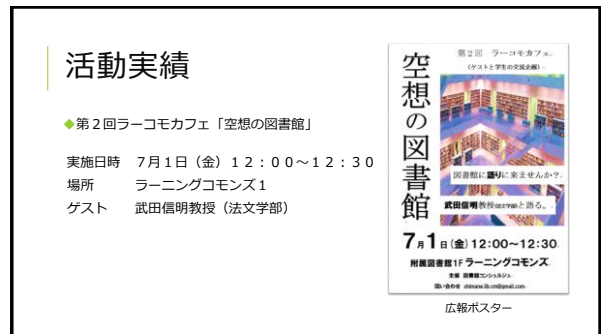
- ▶ 外国人留学生の減少への分析
 - 中間テスト期間以来外国人留学生は8人から1人までに減少した。これは学業や課外活動などで忙しくなったと思われる。
- ▶ 話に参加できない方の分析
 - 話すのが苦手な方は話題があっても、自分から話すことができていない。また、日本語が全く話せない方にとって、難しいと考察される。
- ▶ 日本人が主になっていることの分析
 - 各国ごとにテーマが存在するが、留学生と話さず、日本人同士で話したりしている。

5、解決策の提案

- ▶ 留学生を話の中心に
留学生が話し出すことで、参加しやすくなる。
- ▶ 日本語で無理をさせない環境作り
日本人が率先して、辞書や翻訳アプリを駆使する。
- ▶ くじとさいころの活用
くじで話すグループを作り、さいころで話のテーマを決める。
- ▶ facebookの活用
コンシユルジェのページで紹介をする。

6、感想

まだまだ至らない部分も多く、自分もうまく話せていないなど問題点も山積みである。目標として、多くの人が日本人と交わり、外国の方と異文化交流をしてほしい。



後期の予定

◆第4回ラーコモカフェ
「大学職員就職希望者を対象とする会」

実施日時 11月 時間未定
場所 ラーニングcommons1
ゲスト 大学職員
趣旨 大学職員就職希望者のための会。
備考 了承は得ていない。

後期の予定

12月・1月・2月 未定

絵本の読み聞かせ

担当者 國富美樹

企画目的

- ・子どもたちに本の面白さを知ってもらう
- ・普段利用しない大学図書館の存在を知ってもらう
- ・図書館コンシェルジュが学外へ出て地域の人と交流する機会をつくる

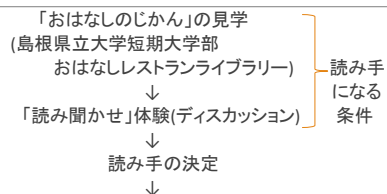
企画概要

- ・松江市立図書館にて絵本の読み聞かせを行なう
- ・日時: 毎月第4日曜日 14:30～15:00
場所: 松江市立図書館 2フラビックのへや
- 大学の長期休暇の間は実施せず

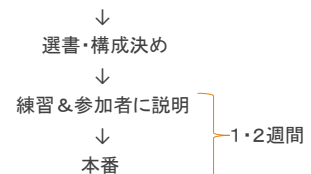
企画概要

- これまで
- ・昨年後期に立ちあげ
- ・初回は27年度1月10日
- ・27年度1月、28年度5月・6月・7月に実施(計4回)

企画概要 本番まで



企画概要



本番 第1回1月10日

・読み手: 大島さん、小田さん
・参加者(コンシェルジュ): 5人



本番 第1回1月10日

司書の方のあいさつ&読み聞かせ・手遊び



「おもちのきもち」
＜手遊び「ちいさなはたけ」＞
「たねいっぱい わらったね」
「せんろはつづく」(大型絵本)

子どもとの
コミュニケーション
「これは何？」
「どうすると遊ぶ？」
など

本番 第2回5月22日

・読み手: 立花さん、國富
・子ども: 3人
・参加者(コンシェルジュ): 3人



本番 第2回5月22日

司書の方のあいさつ&読み聞かせ・手遊び



「ちびごりらのちびちび」
＜手遊び「ぐーちよきばーでなにつくろう」＞
「おばけなんてないさ」
あめのひのえんそく(大型絵本)
「くんくん、いいにおい」
「あーといってよ、あー」

一緒に歌う・
声を出す本
(おばけなんてないさ・
あーといってよ、あー)

本番 第3回6月26日

・読み手: 福島さん、國富
・子ども: 5人
・参加者(コンシェルジュ): 1人



本番 第3回6月26日

自己紹介



とうさん、まいご
わたしのワンピース
ねずみのともだちさがし
＜手遊び「パンダ・ウサギ・コアラ」＞
どろんこハリー
おばけのてんぶら(大型本)

名札・
自己紹介を
導入
対象年齢を幅広く

本番 第4回7月24日

- ・読み手: 大久保さん、小田さん
- ・子ども: 4人
- ・参加者(コンシェルジュ): 2人



本番 第4回7月24日

- 自己紹介
- ↓
- キャベツくん
- もりのどうぶつ
- ぞうくんのあめふりさんぽ
- <手遊び「あがりめさがりめ」>
- いないいないばあ
- とりかえっこ
- ぐりとぐら(大型絵本)

プログラムを
年少向け・
年長向け
の2パターン用意
(本書は年少向け)

参加者(コンシェルジュ)の意見

- 読み手について
- ・子どもとのコミュニケーションが多すぎてテンポが悪い、ある程度距離感が必要
- ・メインの聞き手は子どもなので、目線等を向けるのは子どもにした方がいい
- ・読み方が、子どもより大人を意識したものが時々あったので、誰を対象にするか考えたほうがいい
- ・大型絵本を読むときは、後ろで読む人と本をめくる人でやった方がいい
- ・服装を地味にする。アクセサリー、時計を外すといい。

参加者(コンシェルジュ)の意見

- 選書・構成について
- ・多人数への読み聞かせに適した本を選ぶ必要がある
- ・もっと簡単にして飽きさせないようにする
- ・来た子供の年齢に合わせて手遊びや絵本を変える必要がある
- ・時間が長く、子どもの集中力が切れていた
- ・参加型の絵本を入れるといい
- ・手遊びと絵本に関連性を持たせるといい

参加者(コンシェルジュ)の意見

- 読み聞かせについて
- ・参加者の役割がない
- ・今回参加したコンシェルジュは5人であったが、折角多い人数を活かせなかった
- ・もっと本番に近い形でリハーサルした方が良かった
(子供に見立てた観客、本番と同じ時間での練習など)
- ・次読む本が見えないように袋に入れる、または後ろに隠した方がいい
- ・もっと早くから呼び込みをしたい
- ・呼び込みで何度も館内を歩くと利用者の迷惑になる

課題

- ・スケジュール管理
- ・子どもとのコミュニケーションの取り方
- ・参加者の役割

今後

○後期の計画

- ・10/23(日)、11/27(日)、1/22(日) 14:30～15:00 に実施
- ・読み手に一般の学生を募ることを検討中
(サークルとの連携も)
- ・ビビットポイントの対象にすることを検討中

今後

○次回に向けて

- ・広報の仕方を考える
- ・読み聞かせ講座(市立図書館)の配布資料をまとめる
- ・手遊び資料をMoodleへ
- ・読み聞かせで使用する島大コンシェルジュの看板を作成

ご清聴ありがとうございました。

読書会 報告

これまでの読書会

ブックトークを主体とした読書会。
ブックトークとは、事前に同一の本を読んだ状態で集まり、それぞれの考えや疑問を交換していく活動です。

新しい読書会

3つの形態に分けて実施。

①本の紹介

参加者が本を持ち寄り、感想やおすすめポイントを紹介→感想・ディスカッション

②絵本の読書会

課題の絵本を当日、その場で読んでもらい感想を語り合い、ディスカッション

③詩の読書会

課題の詩を当日、その場で読んでもらい感想を語り合い、ディスカッション

目的

・本を通じて学生通しのコミュニケーションによる交流を深める。

・これまでの読書会のイメージを払拭し、新たに誰でも参加できる自由な読書会を創っていき、図書館を交流の場として提供する。

要項

実施時間：火曜日の昼休憩（12:00～12:30）

実施場所：図書館内グループ学習室1

一週目：おすすめ本の紹介回

二週目：絵本の回

三週目：詩の回



広報について

ポスターを作成

各学部棟・図書館内の掲示板等に貼り、広告



実施日 参加人数(一般参加:図書館コンシェルジュ)

4月12日 5人(3:3)

4月19日 4人(2:2)

5月25日 4人(2:2)

6月 7日 4人(1:3)

6月14日 3人(1:2)

6月21日 5人(2:3)

7月 5日 5人(2:3)

7月12日 4人(1:3)

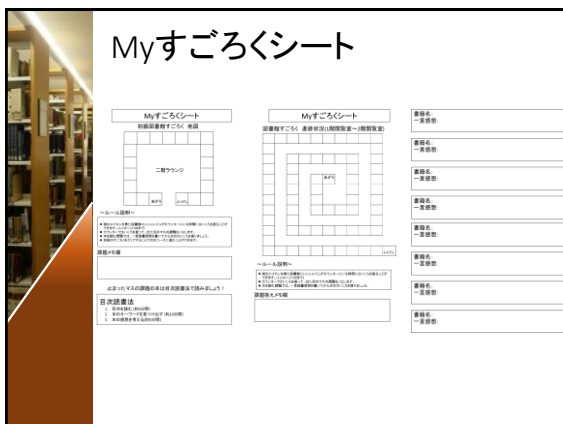
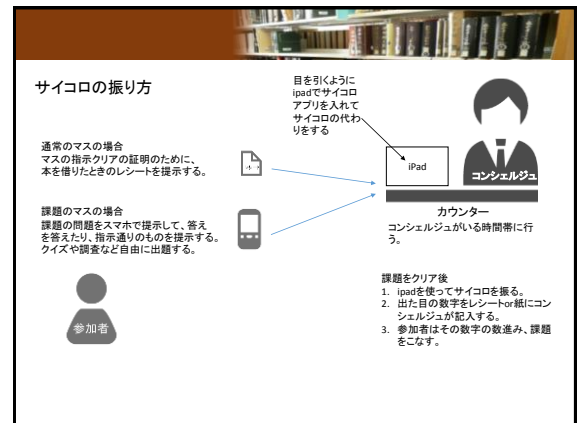
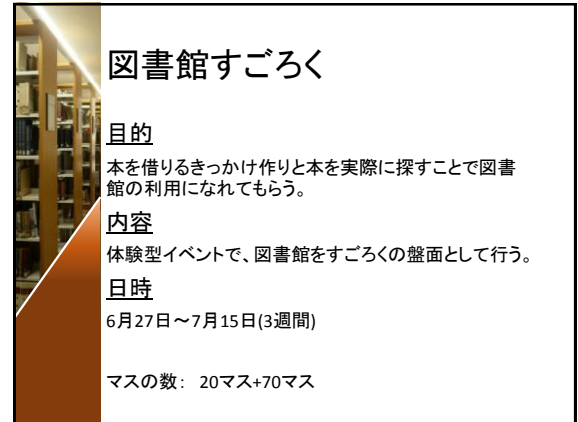
7月19日 4人(1:3)

反省点

- ・参加人数が少ない→広報のやり方・実施時間などに原因
- ・話しやすい空気をつくれていたか
- ・参加者が楽しめる読書会になっていたのか
- ・当日に、課題の詩や絵本を読んでいたので、考える時間が足りなかった。
- ・イメージがつかみにくい(ポスター等)
- ・コンシェルジュの負担が大きい

改善点

- ・もっと自由に参加者が話せるよう、主催側が工夫していく必要あり
内容の時間設定など、メリハリも大切。
- ・実施時間を昼休憩より人が参加しやすい時間に設定する
- ・ポスターを貼る場所を変える。(どこが目につきやすいかサーチ)
- ・時間がギリギリもしくは、過ぎてしまうこともあったので、時間設定を
考える(例)30分→45分
- ・詩などは、事前に配布しておく必要あり
- ・参加者が取り組みやすい課題を考える
- ・ポスターに実際の写真を掲載したりして、分かりやすい内容にする
- ・グループ学習室は、外側から隔絶されているので、入りやすいようドアを開ける



短期的に本を読んでもらう方法

3週間で数冊の本を読んでもらう必要があるため、
昨年度学生協働シンポジウムで行った短時間で本を読むことができる目次読書法を推奨する。

目次読書法

1. 目次を読む(約5分間)
2. 本のキーワードを見つけ出す(約10分間)
3. 本の感想を考える(約5分間)

結果

- 参加者 5名
- 最終ゴール者 0名



考察

- 広報がポスターと図書館HPのみで不十分。
- 企画前後の準備不足。
- マスの数が多かった。



余った景品はオープンキャンパスに回します。

ご清聴ありがとうございました。

ただ日本語で話すだけ

～Let's talk with Japanese people in Japanese Language～

S152034 Yuya Tanaka

概要

- ▶ 日本人学生と外国留学生を対象に、できるだけ日本語で会話するというイベント

目的

- ▶ 外国留学生との交流を図ることで、日本の良さを知ってもらう
- ▶ 日本語を学ぶ留学生にとって勉強になる

日程と参加人数

- ▶ 10月12日より毎週水曜日11:45-12:15ラーニングcommons2
- ▶ 10月は宣伝の甲斐もなく、職員と自分のみ。本格的な始動は11月から

*職員は含まない

	日本人	留学生
11月2日	3	6
11月9日	4	5
11月16日	3	7
11月23日	5	4
11月30日	3	4
12月7日	3	5
12月14日	3	4
12月21日	2	4



前回の反省点からの改善点

- ▶ 一つのグループになると参加できない方が増えるため、複数のグループに分ける
- ▶ Facebookによるネットからの宣伝
- ▶ 各回でのテーマ作成
- ▶ 日本語初級者、もしくは話せない人のための配慮

10月末までの課題と対策

- ▶ 今回、10月は全くと言っていいほど人が集まらなかった。留学生どころか日本人も→SUISA主催のWelcomePartyで宣伝
- ▶ 宣伝場所が入口とラーニングcommons2のみ→ラーニングcommons1、踊り場やパソコンルーム前のディスプレイ表示、大学会館でポスター

全体を通しての課題と対策

- ▶ 宣伝の効果が低かった→口コミやTwitterなど宣伝の場所を広げる
- ▶ リピーターのみで興味を持つ新規の方はいらっ
しゃらなかったこと→もっと興味深いイベント内
容の作成

まとめ

- ▶ 前期とは異なり、後期から新留学生が入るためその対応が遅れてしまった
- ▶ 前回の反省点を生かし、今回に臨んだ
- ▶ 新たな課題が急務であり、まだまだ改善の余地がある



活動概要

学生とゲストの交流を図る

活動実績

2016年度は、計3回実施。

- ・第2回「空想の図書館」武田教授
実施日：7/1 参加人数：約10名
- ・第3回「留学経験者と語る会」法文学部4年生2名
実施日：11/9 参加人数：約20名
- ・第4回「現役島根大学職員と語る会」国際交流課職員2名
実施日：1/18 参加人数：約20名

広報手段

- ・ポスター掲示
- ・LINE
- ・Twitter
- ・図書館ブログ



第4回 ワークショップ
現役島根大学職員と語る会

ゲスト 松林 由美子（留学生交流担当）
山根 康介（国際連携担当）

日時 1月18日（水） 12:30 ～ 13:30
場所 国際図書館2階 ラーニングコモンズ2
主催 国際館コンシェルジュ

第4回ワークショップを開催します。ゲストの方には、貴校の職員のことや大学職員となるまでの過程など、これから大学職員を目指す方や興味を持っている方必見の内容をお話しいたします。約30分間の質問の時間も設ける予定のため、疑問なども質問することもできます。まだ卒業後のことを考えていない方でもぜひお越しください。
自分のキャリアを考えた一歩として参加しませんか？

「ワークショップとは？」
ワークショップとは、グループで話し合い、アイデアを出し合い、問題解決を図る活動のことです。参加者は、自分の考えや意見を自由に発表し、他の参加者の意見やアイデアを参考に、より良いアイデアを出し合い、問題解決を図ります。

第2回 空想の図書館




第3回 留学経験者と語る会






第4回 現役島根大学職員と語る会





反省

- ・参加人数の少なさ
- ・広報不足（効果的な広報ができていない？）
- ・学生の求めるテーマやゲストであったのか？

来年度へ向けて（改善）

- ・学生のイマ求めるものを把握すること
- ↓
- ・狙いを絞った、効果的な広報もできる
- ↓
- ・参加人数を確保できるのでは？

BookTravel

～本と出かける新たな旅～

報告

イベントチーム 森岡佑介

BookTravelとは...

日本の都道府県について、それぞれの特色や魅力について

「本」を通して学んでいこうという企画です。

企画の詳細

展示期間：2016年12月5日～12月22日

展示場所：図書館

対象：図書館利用者

龍谷大学瀬田図書館ライブラリーサポートさんの活動

「全国企画」

作家の「出身地」にスポットを当てた企画
北海道、岩手県、山梨県、福井県、愛知県、
京都府、広島県、香川県、福岡県、沖縄県の
計10都道府県の作家をピックアップし、
作家と同郷の方に興味を引くような本を選び紹介。



都道府県企画(仮称)

(目的)

・在学生の出身地に焦点をあて、いくつかの都道府県に関連する図書を
紹介・展示し、「本」からそれぞれの地域の特色や魅力を知ってもらう。

・普段はあまり意識することのない作家の出身地にスポットをあてること
で、普段とは違った観点から本に興味を持ってもらう

都道府県企画

(内容)

・島根大学在学生の出身都道府県の割合が大きい都道府県をいく
つ選び、紹介・展示の対象とする。

・対象の都道府県が出身地である作家の図書や、それぞれの地域の
特色や魅力に関する図書を選ぶ。

・それぞれの地域の特徴や作家や図書の紹介文・ポップなどを製作
し、図書とともに展示する。

実際の企画の流れ

島根大学在学生の出身都道府県の生徒数の割合が大きい都道府県を選出

一回の企画で複数の都道府県を紹介することが困難

試験的に一つの都道府県に絞り準備・展示
(今回は島根大学在学生の出身都道府県という条件はなし)

紹介する都道府県を岐阜県に決定
(岐阜県出身の小説家が多い、蔵書が多い)

小説家

池井戸潤

奥田英朗

朝井リョウ

沖方丁

島崎藤村

小島信夫

中村航

地域の特徴・魅力の紹介

岐阜県の特徴を紹介しています。

岐阜県 特集!!!

岐阜県の特徴を紹介しています。

飛騨地方

岐阜県北部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

飛騨高地

岐阜県北部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

白川郷

岐阜県北部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

下呂温泉

岐阜県北部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

美濃地方

岐阜県南部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

美濃盆地

岐阜県南部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

美濃川

岐阜県南部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。

美濃町

岐阜県南部に位置する山岳地帯。山岳地帯に特有の気候・風土・文化・歴史・産業・観光資源が豊富です。



期間: 2016年12月1日 - 2016年12月22日	
1冊	2143803 阿香 / 朝井リョウ著
2冊	2128480 水車 / 奥田英朗著
3冊	2128481 水車 / 奥田英朗著
4冊	2128482 水車 / 奥田英朗著
5冊	2128483 水車 / 奥田英朗著
6冊	2128484 水車 / 奥田英朗著
7冊	2128485 水車 / 奥田英朗著
8冊	2128486 水車 / 奥田英朗著
9冊	2128487 水車 / 奥田英朗著
10冊	2128488 水車 / 奥田英朗著
11冊	2128489 水車 / 奥田英朗著
12冊	2128490 水車 / 奥田英朗著
13冊	2128491 水車 / 奥田英朗著
14冊	2128492 水車 / 奥田英朗著
15冊	2128493 水車 / 奥田英朗著
16冊	2128494 水車 / 奥田英朗著
17冊	2128495 水車 / 奥田英朗著
18冊	2128496 水車 / 奥田英朗著
19冊	2128497 水車 / 奥田英朗著
20冊	2128498 水車 / 奥田英朗著
21冊	2128499 水車 / 奥田英朗著
22冊	2128500 水車 / 奥田英朗著
23冊	2128501 水車 / 奥田英朗著
24冊	2128502 水車 / 奥田英朗著
25冊	2128503 水車 / 奥田英朗著
26冊	2128504 水車 / 奥田英朗著
27冊	2128505 水車 / 奥田英朗著
28冊	2128506 水車 / 奥田英朗著
29冊	2128507 水車 / 奥田英朗著
30冊	2128508 水車 / 奥田英朗著
31冊	2128509 水車 / 奥田英朗著
32冊	2128510 水車 / 奥田英朗著
33冊	2128511 水車 / 奥田英朗著
34冊	2128512 水車 / 奥田英朗著
35冊	2128513 水車 / 奥田英朗著
36冊	2128514 水車 / 奥田英朗著
37冊	2128515 水車 / 奥田英朗著
38冊	2128516 水車 / 奥田英朗著
39冊	2128517 水車 / 奥田英朗著
40冊	2128518 水車 / 奥田英朗著
41冊	2128519 水車 / 奥田英朗著
42冊	2128520 水車 / 奥田英朗著
43冊	2128521 水車 / 奥田英朗著
44冊	2128522 水車 / 奥田英朗著
45冊	2128523 水車 / 奥田英朗著
46冊	2128524 水車 / 奥田英朗著
47冊	2128525 水車 / 奥田英朗著
48冊	2128526 水車 / 奥田英朗著
49冊	2128527 水車 / 奥田英朗著
50冊	2128528 水車 / 奥田英朗著
51冊	2128529 水車 / 奥田英朗著
52冊	2128530 水車 / 奥田英朗著
53冊	2128531 水車 / 奥田英朗著
54冊	2128532 水車 / 奥田英朗著
55冊	2128533 水車 / 奥田英朗著
56冊	2128534 水車 / 奥田英朗著
57冊	2128535 水車 / 奥田英朗著
58冊	2128536 水車 / 奥田英朗著
59冊	2128537 水車 / 奥田英朗著
60冊	2128538 水車 / 奥田英朗著
61冊	2128539 水車 / 奥田英朗著
62冊	2128540 水車 / 奥田英朗著
63冊	2128541 水車 / 奥田英朗著
64冊	2128542 水車 / 奥田英朗著
65冊	2128543 水車 / 奥田英朗著
66冊	2128544 水車 / 奥田英朗著
67冊	2128545 水車 / 奥田英朗著
68冊	2128546 水車 / 奥田英朗著
69冊	2128547 水車 / 奥田英朗著
70冊	2128548 水車 / 奥田英朗著
71冊	2128549 水車 / 奥田英朗著
72冊	2128550 水車 / 奥田英朗著
73冊	2128551 水車 / 奥田英朗著
74冊	2128552 水車 / 奥田英朗著
75冊	2128553 水車 / 奥田英朗著
76冊	2128554 水車 / 奥田英朗著
77冊	2128555 水車 / 奥田英朗著
78冊	2128556 水車 / 奥田英朗著
79冊	2128557 水車 / 奥田英朗著
80冊	2128558 水車 / 奥田英朗著
81冊	2128559 水車 / 奥田英朗著
82冊	2128560 水車 / 奥田英朗著
83冊	2128561 水車 / 奥田英朗著
84冊	2128562 水車 / 奥田英朗著
85冊	2128563 水車 / 奥田英朗著
86冊	2128564 水車 / 奥田英朗著
87冊	2128565 水車 / 奥田英朗著
88冊	2128566 水車 / 奥田英朗著
89冊	2128567 水車 / 奥田英朗著
90冊	2128568 水車 / 奥田英朗著
91冊	2128569 水車 / 奥田英朗著
92冊	2128570 水車 / 奥田英朗著
93冊	2128571 水車 / 奥田英朗著
94冊	2128572 水車 / 奥田英朗著
95冊	2128573 水車 / 奥田英朗著
96冊	2128574 水車 / 奥田英朗著
97冊	2128575 水車 / 奥田英朗著
98冊	2128576 水車 / 奥田英朗著
99冊	2128577 水車 / 奥田英朗著
100冊	2128578 水車 / 奥田英朗著

全体として、貸出冊数は少ない
小説は貸出冊数が多かったが
郷土関連の本の貸出数は少ない。

まとめ

改善点
展示場所の変更
計画的な準備
選出理由の提示

絵本の読み聞かせ

担当者 國富美樹

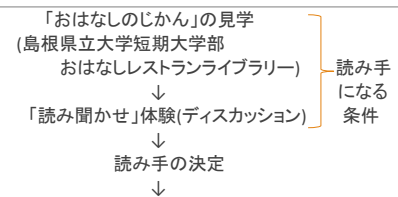
企画目的

- ・子どもたちに本の面白さを知ってもらう
- ・普段利用しない大学図書館の存在を知ってもらう
- ・図書館コンシェルジュが学外へ出て地域の人と交流する機会をつくる

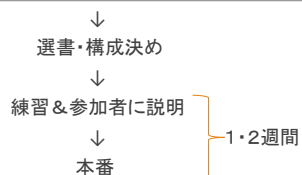
企画概要

- ・松江市立図書館にて絵本の読み聞かせを行なう
- ・日時: 毎月第4日曜日 14:30~15:00
場所: 松江市立図書館 2Fラビックのへや
- 大学の長期休暇の間は実施せず

企画概要 本番まで



企画概要



本番 第5回11月27日

- ・読み手: 大久保さん、林くん
- ・参加者: 子ども: 5人
大人: 5人



本番 第5回11月27日

<手遊び「むすんでひらいて」>
「キャベツ」
「かさじぞう」
<手遊び「おべんとうばこのうた」>
「おべんとうバス」(大型絵本)
「おつきさまはまあるくなくっちゃ」

年少・年長向けを
組み合わせた選書

昔ばなしの
読み聞かせ

課題の達成状況

- ・10/23(日)、11/27(日)、1/22(日) 実施予定
→11/27(日)のみ
- ・読み手に一般の学生を募る
→サークルとの連携は出来ず
- ・ビビットポイントの対象にする
→対象となり、11/27の回から申請

今後

- ・ボランティアとして一年間の活動はしない
- ・読み手の一般公募は、特定の団体や集団に声をかける
ただし、コンシェルジュの役割など、企画の見直しが必要

ご清聴ありがとうございました。

N-1 Novel-1 Grand Prix 2016 報告

・昨年度(2015年4月1日から2016年3月31日)、図書館利用者に多く借りられた小説の上位作品をノミネートし、その中から投票により、島根大学図書館の2015年度ナンバーワンの作品をみんなで選ばうという企画です。

・他の読者の方や、小説をあまり読まない人に読んで欲しい・オススメしたい一冊をあなたの投票で選びます。見事、大賞に選ばれた作品は開示・決定後に図書館内にて掲示による発表をします。

目的

・学生に人気の作品を展示することで小説に対する興味関心を持ってもらい、作品を読むきっかけをつくること。

・若者の活字離れが進む中、小説の魅力の再発見や読者の拡大を目指したい。

流れ

1. 島根大学図書館で利用頻度の高いリストから小説のランキングをつくる。その中の上位作品(16作品)を展示及び、対象候補作品として扱う。
2. 作品の紹介文・コメント用紙を作成
3. 2の資料をまとめて図書館2階展示ウォールに展示・投票開始(6月25日)
4. 展示終了(7月15日)後、投票数を確認、集計、大賞を決定し、結果発表とともに上位5作品を展示。
5. 展示終了(7月29日)

2015(2015年4月1日～2016年3月31日)

1位(18回)	12位(12回)
・ 植物図鑑 有川浩 2009	・ ノルウェイの森 下 村上春樹 1987
・	・ 1084 book1 村上春樹 2010
2位(17回)	・
・ 緊急電報 有川浩 2008	14位(11回)
・	・ 海辺のカフカ 上 村上春樹 2002
3位(16回)	・ 夜と霧 ヴィクトール・E・フランクル(著) 池田佳代子(訳) 2002
・ 古道具屋敷 輪渡楓介 2011	・ サラバ! 上 西加奈子 2014
・ 村上隆の顔 上巻 和田竜 2013	・ 園路村 藤沢保夫 2012
・	・ ラブレスの魔法 東野圭吾 2015
5位(15回)	・ スクラップ・アンド・ビルド 有田圭介 2015
・ 図書館戦争 有川浩 2006	・
・	20位(10回)
6位(14回)	・ マーダー・ボーイ ジョン・オカダ(著)中山康(訳) 1979
・ 舟を編む 三浦しをん 2011	・ 孤独、邪活やめるってよ 藤井ツバキ 2010
・ 何者 朝井リョウ 2012	・ 弘実親王の女子マナーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら 岩崎夏海 2009
8位(13回)	・ 海賊とよばれた男 上 百田尚樹 2012
・ ノルウェイの森 上 村上春樹 1987	・ ナミヤ雑貨店の奇蹟 東野圭吾 2012
・ 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 村上春樹 2013	・ 逢うな十字架 東野圭吾 2014
・ 村上隆の顔 下巻 和田竜 2013	・ サラバ! 下 西加奈子 2014
・ 火花 又吉直樹 2015	・



N-1

Novel-1 Grand Prix 2016

昨年秋(2015年9月1日から2016年3月31日)、図書館利用者に多く借りられた本の上位作品をノミネートし、その中から投票により、国文学館・図書館の2015年度ナンバーワン作品をみんなで見つける企画です。

他の読者の声や、作品をあまりまだ知らない人に読んで欲しい・オススメしたい一冊をあなたの投票で選びます。見事、大行に選ばれた作品は展示・決定後に国文学館にて掲示による発表をします。

- ・展示場所
国文学館2階展示ホール
- ・展示・投票期間
2016年6月25日～7月15日
- 国文学館コンシェルジュ主催企画活動

N-1 Novel-1 Grand Prix 2016

Comments paper

コメント用紙の募集
→

- ・投票者の投票した作品へのコメント
- ・N-1の意見・感想



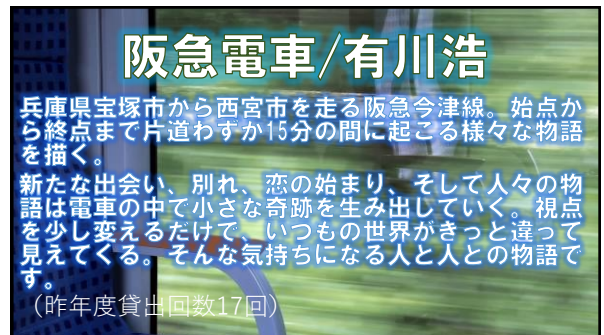
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩
森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩	森田麻衣子/有川浩

N-1

Novel-1 Grand Prix 2016

総得票数 67票

ご参加いただいた皆様
たくさんの投票ありがとうございました。



N-1

Novel-1 Grand Prix 2016

4票

「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年」村上春樹

3票

「ノルウェイの森」村上春樹

2票

「舟を編む」三浦しをん

1票

「何者」朝井リョウ

1票

「火花」又吉直樹

1票

「小道具屋皆應堂」猫除け 輪渡颯介

1票

「海辺のカフカ」村上春樹

1票

「小道具屋皆應堂」輪渡颯介

1票

「ラブラスの魔女」東野圭吾

1票

「スクラップ・アンド・ビルド」羽田圭介

1票

「IQ84」村上春樹

期間: 2016年6月24日 - 2016年7月15日		資料番号	備考
3回	植物図鑑 / 有川浩著	2154221	
2回	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon) : a novel / 村上春樹著 ; book 1	2105583	
	何者 / 朝井リョウ著	2144491	
	阪急電車 / 有川浩著	2169069	
	火花 / 又吉直樹著	2176641	
	ラブラスの魔女 / 東野圭吾著	2177732	
	スクラップ・アンド・ビルド / 羽田圭介著	2178556	
1回	ノルウェイの森 / 村上春樹著 上	2139205	
	ノルウェイの森 / 村上春樹著 下	2139206	
	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 / 村上春樹著	2146433	
	古道具屋皆應堂 / 輪渡颯介著	2148295	
	村上海賊の娘 / 和田竜著 上	2155425	
	サラバ! / 西加奈子著 上	2170258	
	サラバ! / 西加奈子著 下	2170003	
	猫除け / 輪渡颯介著	2170676	
	海辺のカフカ / 村上春樹 [著] 上	7043332	
	海辺のカフカ / 村上春樹 [著] 下	3135821	
0回	図書館戦争 / 有川浩著	2088384	
	舟を編む / 三浦しをん著	2137582	2016年4月

まとめ

反省点

- ・コメントシートを募集したが、一枚も書いてもらえなかった。

達成度

- ・大賞作品の貸出冊数が増えたので、読書のきっかけをつくれた

読書会 ページをめくる部屋

林、森岡、田村

2016年度報告

目的

- 本を通してコミュニケーションによる交流を深める。
- 誰でも参加できる読書会を行い、図書館を交流の場として提供する。

前期の活動

- 実施時間
火曜日の昼休憩（12:00~12:30）
- 実施場所
図書館内グループ学習室 1
- 活動
1週目：オススメの本紹介の回
2週目：絵本の回
3週目：詩の回

広報

- ポスターを作成し
各学部棟・図書館
に貼り、広告
- LiMeによる広報



実施日 参加人数
(一般参加：図書館コンシェルジュ)

4月12日	5人 (3:3)
4月19日	4人 (2:2)
5月25日	4人 (2:2)
6月 7日	4人 (1:3)
6月14日	3人 (1:2)
6月21日	5人 (2:3)
7月 5日	5人 (2:3)
7月12日	4人 (1:3)
7月19日	4人 (1:3)

前期の反省・改善点

- 反省
 - ・参加人数が少ない
 - ・ポスターで活動のイメージが伝わりにくい
- 改善点
 - ・昼休憩よりも参加しやすい時間に変更
 - ・時間内で終わるように30分より長くする
 - ・ポスターに写真を入れ、活動を知らせる
 - ・参加者が取り組みやすい課題にする

後期の目標・変更点

- 目標
 - ・参加者の増加
- 変更点
 - ・企画名の変更
 - ・実施時間の変更
 - ・前期の参加者がもっとも多かったオススの本紹介の回のみに変更（ある程度の参加者の増員で他の回も開催）

後期の活動

- 実施時間
 - 月曜日の5コマ（16:15~17:30程度）
- 実施場所
 - 図書館内グループ学習室1
- 活動
 - 月に1回 オススの本紹介の回

広報

- 読書会のイメージを変えるために企画名を『ページをめくる部屋』に変更
- ポスターを図書館内に掲示
- ポスターに写真を入れ活動を伝える
- ポスターをポップなカラーにし目につきやすいようにする
- LiMeによる広報

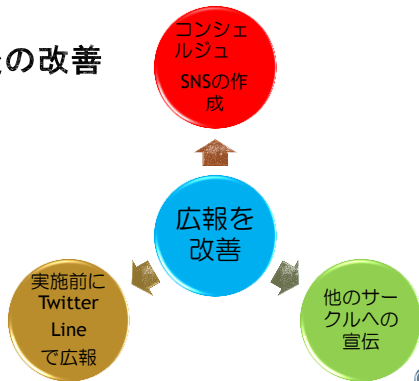


実施日 参加人数
 (一般参加：図書館コンシェルジュ)
 11月21日 4人 (1:3)
 12月12日 3人 (1:2)
 1月16日 0人

後期の反省

- ・月曜5コマは都合が悪く出席できない人がいた
→放課後に開催
- ・後期からの新参加者の増加は難しい？
- ・企画が多くの生徒に認知されていない
ポスターのみでは限界

今後の改善



自主企画活動報告

広報チーム

広報チーム

主な活動・企画

月刊LiMe (No.76-No.81)

- ・ LiMe 4月号
- ・ LiMe 6月号
- ・ LiMe 7月号
- ・ オープンキャンパス特別号
- ・ LiMe 11月号
- ・ LiMe 12月号
- ・ シンポジウム特別号

企画目的

図書館でのお知らせや活動を来館者に知ってもらう。
また、図書館でのイベントの告知をおこなう。

4月号 (No.76)

主に新生向けの内容



シンポジウム 特別号 (No.80)

夏休みに行われた
シンポジウムにつ
いての記事をまと
めたもの



反省点

- ・ 発行日の遅れ
- ・ イベント告知が十分にできない
- ・ 他チームの予定把握ができてなかったために、無理な原稿提出を求めてしまった

自主企画活動報告

展示・グッズチーム

館内装飾

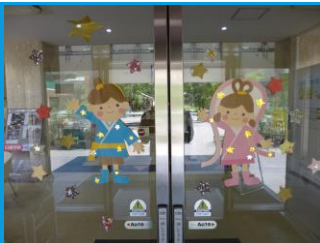
七夕

2016.6.1～2016.7.13

内容

- ・企画名
館内装飾 vol.七夕
- ・実施期間
2016年6月1日(水)～2016年7月13日(水)
- ・目的
季節感溢れるかわいい飾りつけをすることで、誰もが気軽に足を運びやすい図書館を目指す

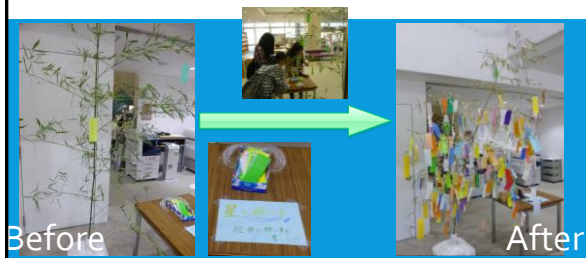
自動ドア



吹き抜け



笹



反省点と改善策

- * 短冊が人気だったので、足りなくなった
→ 最初にもっと多めに作っておく
→ カウンター当番の人にも協力してもらう
- * 1か月を過ぎると笹が枯れてしまい、見苦しくなった
→ 笹を飾る期間を短くする
- * 短冊を笹に結ぶために釣り糸を使ったが、硬いので扱いにくかった
→ タコ糸やモールを使う

今後の活動予定

・10月 ハロウィン装飾

・12月頃 クリスマス・冬装飾 (未定)

ご清聴ありがとうございました

市立図書館 団体貸出

展示グッズチーム 立花 寛奈

- 1.市立図書館団体貸出について
- 2.貸出テーマと貸出冊数
- 3.これからの課題

2.貸出テーマと貸出冊数

第一回 児童書、絵本、料理関係本
(1月20日(水)～3月2日(水))

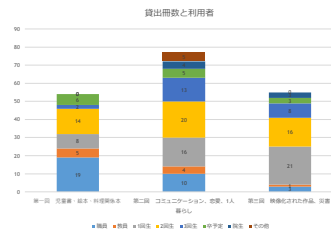
第二回 コミュニケーション、恋愛、1人暮らし
(3月10日(水)～5月10日(火))

第三回 映像化された作品、災害
(5月25日(水)～7月6日(水))

第四回 怪談、アウトドア、旅行
(7月22日(金)～現在展示中)



2.貸出冊数



これからの課題

- ・ 選書に行く人の固定化をさける。
→ 多くの人が参加できるよう毎回の曜日を固定しない
- ・ より多く団体貸出の本を利用してもらう
→ ポスター・Facebookなどによる宣伝

ひとたなブックス活動報告

担当：松永、水野

概要

主な活動：

図書館利用者にお勧めの本を推薦してもらい、その本を展示する

推薦期間：7月上旬～7月31日

開催期間：8月4日～11月2日

目的：図書館の利用促進、本への興味を促す

現在の進行状況

展示中

推薦された本：10冊

推薦者数：8人

同時進行で、お勧めの本の募集を継続

反省点、良かった点

反省点：

スケジュール管理がうまくいかなかった

ポスターの設置場所が少なかった

良かった点：

予想より、本が集まった

今後の予定

展示の撤去：11月2日

次のひとたなブックスのテーマ決定：10月中旬

ひとたなブックス活動報告

担当：松永、水野

概要

主な活動：

図書館利用者にお勧めの本を推薦してもらい、その本を展示する

実施期間：平成28年12月14日～平成29年2月10日

目的：図書館の利用促進、本への興味を促す

現在の進行状況

展示中：20冊

テーマ1：タイトルが気になる、読んでみたい本
9冊

テーマ2：とにかく読んでほしい！僕/私のお勧め本
11冊

前回からの変更点

- ・前回：おすすめしてもらった本は、自分がお勧めしたい本のみ
今回：テーマ（読みたくなるタイトルの本）に沿った本、または自分がお勧めしたい本の2種類に変更
- ・応募用紙設置場所の増加
- ・ひとたなブックスの宣伝チラシの作成

反省点、良かった点

反省点：おすすめしてもらった本のうち、人気の作品は、常に貸し出し中だったため、なかなかひとたなに並べられなかった

良かった点：前回より冊数が増えた
「タイトルが気になる本」も募集したため、今までのテーマでは集まらなかった本が集まった

前回の結果

前回の開催期間：平成28年8月4日～11月2日

集まった本：計10冊

利用者層：

1回生：9回 2回生：4回 3回生：8回 4回生：8回

市民パスポート会員：2回

前回の結果

貸出回数:

『蝶々の纏足』	6回
『死ぬまでに観たい映画1001本』	5回
『アッシャー家の崩壊; 黄金虫: 他7編』『ディズニーの魔法』	4回
『キッチン』『漢字は日本語である』	3回
『時間と自己』『「分かりやすい表現」の技術』	2回
『幻妖の水脈』『塩狩峠』	1回

今後の予定

展示の撤去: 2月10日

次回のひとたなボックスについて(予定):

展示期間: 2017年5月～夏休み中

人気のある一般教養の授業を受け持つ教員ごとに、
授業に役立つ推薦本を集めた本棚を作成し、展示する

そこで、協力をお願いします



ブック★コンパス 企画報告

企画責任者 小田美岬

企画について

- 内容: コンシェルジュがテーマに沿った本を展示・紹介する。本にはポップをつけ、興味を持ってもらいやすくする。
- 場所: 1階カウンター前本棚
- 目的: 来館者に、普段読む本とは違う本に興味を持ってもらう。本の貸し出しを促進する。
- 対象: 来館者

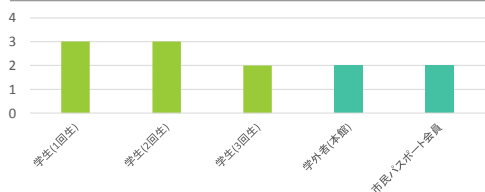
展示の様子



星と恋

- 期間: 6月22日(水)～8月5日(金)
- メインテーマ: 「星と恋」
サブテーマ: 「星に関する本」
「古典の恋愛物」

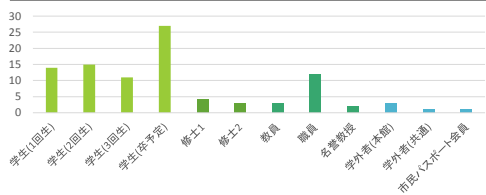
貸出回数(星と恋)



選書ツアー

- 期間: 8月9日(火)～11月8日(火)
- 選書ツアー時に選書された本を展示。
- 夏休み中のため、職員(矢田さん)が担当。

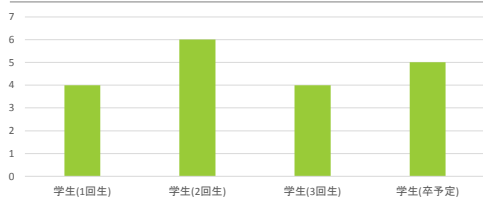
貸出回数(選書ツアー)



芸術の秋・スポーツの秋

- 期間: 11月9日(水)～12月14日(水)
- メインテーマ: 「芸術の秋・スポーツの秋」
- サブテーマ: 「芸術に関する本」
- 「スポーツに関する本」

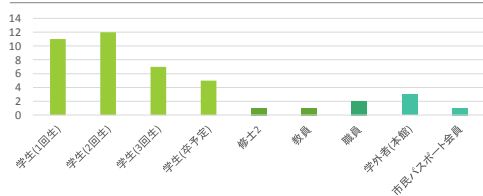
貸出回数(芸術の秋・スポーツの秋)



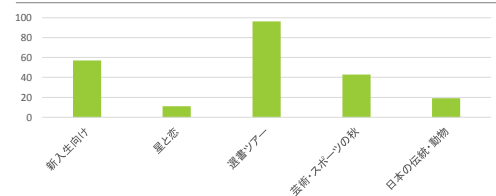
日本の伝統・動物の本

- 期間: 12月14日(水)～2月10日(金)
- メインテーマ: 「日本の伝統・動物の本」
- サブテーマ: 「日本の伝統」
- 「動物に関する本」

貸出回数(日本の伝統・動物の本)



貸出回数(年間)



これからの課題

- 生徒の興味・関心が深いテーマにする。
- テーマのマンネリ化を避ける。
- 装飾・ポスターにも手を加える。
- 1か月をめぐりに定期的な入れ替えを行い、展示のない期間を作らないようにする。

11

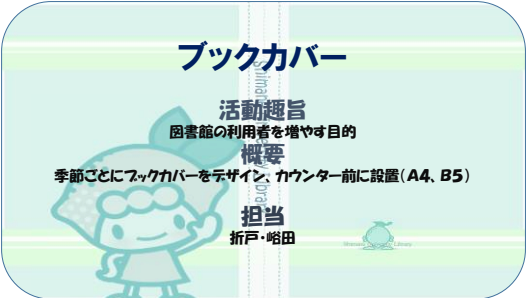
ブックカバー

活動趣旨
図書館の利用者を増やす目的

概要
季節ごとにブックカバーをデザイン、カウンター前に設置(A4、B5)

担当
折戸・略田

常設(季節イベントのない時期)のブックカバーデザイン



七夕

作成数
A 4 : 20部
B 5 : 10部

配布数
A 4 : 20部
B 5 : 10部

設置期間: 7月7日～8月5日まで



ハロウィン

作成数
A 4 : 20部
⇒10部追加
B 5 : 20部
⇒5部追加

配布数
A 4 : 28部
B 5 : 23部

設置期間: 10月5日～11月1日



クリスマス&冬 設置期間11月30日～
(現在の在庫が終了次第通常ブックカバーへ)

作成数
A 4 : 20部
⇒10部追加
B 5 : 20部
⇒10部追加

配布数
A 4 : 30部
B 5 : 30部



良かった点

- ・季節のブックカバーは2週間ほどで在庫切れになることがあった。季節を楽しんでもらえたと思う。
- ・手描きで作ることで、オリジナリティのあるブックカバーになった。

反省点と改善案

- ・在庫が切れている状態に気づかず、追加の設置が遅れた。
⇒利用サポートの時などにこまめに確認する。

現在、春ブックカバー作成中



館内装飾 ～後期～

活動趣旨

季節感あふれるかわいい飾りつけをすることで、誰もが気軽に足を運びやすい図書館を目指す！！

概要

- 図書館の館内を折り紙などで作った飾りで装飾する。

• 場所

吹き抜け	}	ハロウィン
出入り口の自動ドア		
カウンター		
1階の渡り廊下	}	冬装飾

ハロウィン



ハロウィン



ハロウィン



冬装飾



冬装飾



冬装飾



反省点

- ・前半と後半の連携がうまくいかなかった
→情報共有をして、協力しやすい状況を整える
- ・装飾期間（短かった、遅れた）
→準備期間を長くする。作成物を簡単なものにする。
- ・利用者の方たちの意見をきく

ご清聴ありがとうございました

市立図書館団体貸し出し

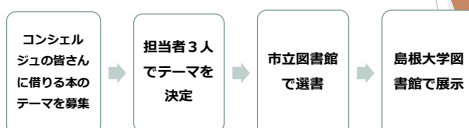
企画概要

・松江市立図書館の蔵書を借り受け、島根大学図書館の利用者に提供する。コンシェルジュと職員が協働して行うが、借りる圖書のテーマの設定、選書作業、展示・片付けはコンシェルジュを中心に行う。

・貸出期間：2ヶ月 ※ただし、貸出中の図書につき予約が入った場合は、1か月で返却
・貸出冊数：1回あたり約100冊

担当者：福島・上野・立花

企画の流れ



企画の様子

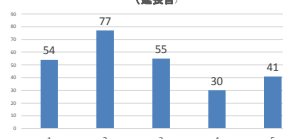
市立図書館で選書

島根大学で展示



貸出統計

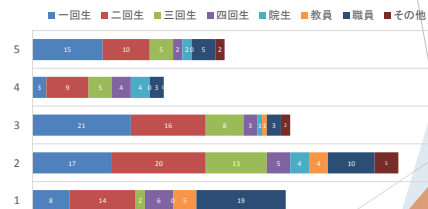
総貸出冊数
(延長書)



1. 児童書・絵本・料理関係本 (1月～3月)
2. コミュニケーション・恋愛・一人暮らし (3月～5月)
3. 映像化された作品・災害 (5月下旬～7月下旬)
4. 怪談 ホラー・旅行・アウトドア (7月下旬～9月)
5. ○○○の秋 (睡眠・読書・食欲)・冬の過ごし方 (11月～1月)

貸出統計

利用者別貸出冊数



選書の一般募集

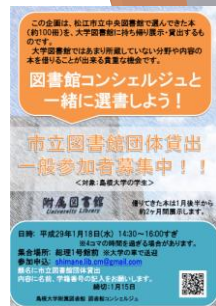
・第6回の選書（1月18日実施）
は一般募集をポスターで行った。

掲示場所：図書館・メインストリート
掲示板

掲示期間：12月中旬～



応募人数 0



改善点・良かった点

良かった点

- ・選書では時間を決めて開架・閉架図書と効率よく選書できるようになった。
- ・大学図書館では借りれない本を借りることができた。
- ・展示場所がわかりやすくなった

改善点

- ・図書館コンシェルジュを含め参加人数の減少がみられた。
- ・一般募集が0だったため広報の仕方を改善する必要がある。(認知不足)
- ・ミーティング時に情報伝達が前半・後半で上手く伝わっていなかった。
- ・テーマ決め、次回の予定がぎりぎりには決まっていたため、初めに一年間の予定などを作るべきだった。

大学図書館学生協働交流シンポジウム

全国学生協働サミット（図書館総合展）

第6回大学図書館学生協働 交流シンポジウム

1日目

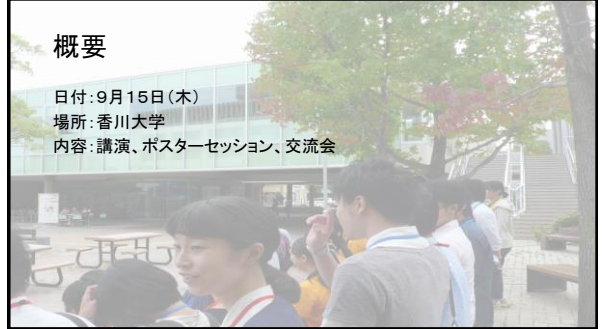
担当: 峪田・松永・水野

概要

日付: 9月15日(木)

場所: 香川大学

内容: 講演、ポスターセッション、交流会



講演会

講師: 森下信雄さん

プロフィール: 北摂演出研究所 代表・プロデューサー
元宝塚総支配人

<専門> 経営戦略、マーケティング、組織運営、
危機管理、マネジメント、各階層別研修、
リーダーシップ、コミュニケーション



内容: テーマは発信者になろう

宝塚歌劇の世界観と美意識について

ブランド→他との差別化



ビジネスモデル→一つの組織で作品創作、衣装舞台作り、販促まで行う



独自の世界観をファンとともに作り、提供する。

内容: テーマは発信者になろう

コミュニティを作るとは

居心地の良い場所を提供し、ルールを作って守らせる

→ 家、学校、会社、地域とも違う、誰もが利用できる第四の空間

利用者と運営者の間で共通認識を作り、
そこでしか生むことのできないコミュニティ
を提供する。

図書館でも
応用できる！

ポスターセッション

島根大学: 企画活動紹介



絵本の読み聞かせや
図書館すぐ近くの企画は他大学から
関心を寄せられた。

他大学のポスター

島根県立大学: 裏本棚

山口大学工学部: 留学生版図書館HP

高松大学: 絵本の読み聞かせ
→ **キャラクター・新聞広告**

神戸大学: 司書さんによるキャラクター、
グッズ制作



他大学からの質問

- ・絵本の読み聞かせはどこでやってる？
- ・図書館すごろくとは？
- ・読書会の宣伝方法と、先に読んでくれるのか？
- ・N1グランプリの票数

反省点

- ・自分の属さないチームの活動内容をきちんと把握できていない

気づき

- ・広告、告知のさまざまな方法を知れた。
→ 新聞広告、学内一斉メール、学内放送
- ・ブックカバーなどのグッズにオリジナリティや工夫を加えて、利用者に楽しんでもらう

良かった点

- ・積極的に質問したり、他大学と意見交換が活発に行えた。
- ・講演が今後につながる内容でよかった。



交流会



第6回大学図書館学生協働交流シンポジウム 2日目

森岡佑介 林晴樹

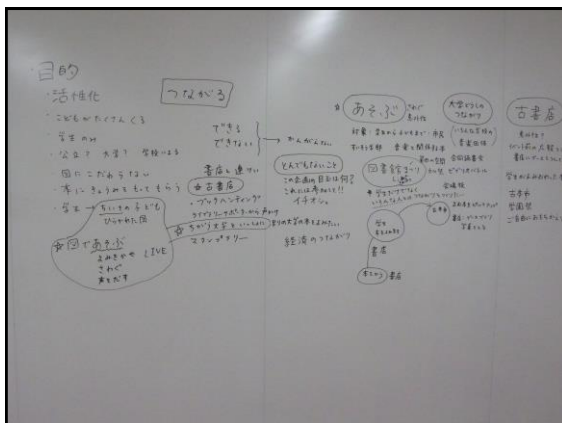
活動

- ワークショップ
「チキチキ！第1回学生協働企画・プレゼンバトル2016」
- 香川大学図書館中央館見学



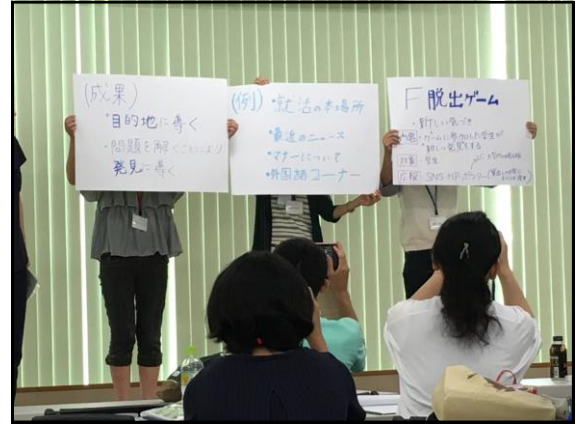
ワークショップ グループワーク

- グループに分かれて企画案の作成
- 学生と職員11人で1班
- 12班
- 50分
- 企画名称、趣旨、内容広報手段
- 用紙に企画案をまとめる



ワークショップ・プレゼンバトル

- 各グループで企画案を発表
- 3分
- 最も印象に残った企画案の投票
- 表彰





まとめ

図書館＝本を借りる場所



図書館コミュニティの形成・発展の場所

大学・図書館・学生・職員・教員・地域のつながりをより良いものにし、共有する場所の提供

そのためには・・・
人と人とを結ぶ企画づくり 多くの人に知ってもらうための広報

コンシェルジュ以外のコミュニティへの呼びかけや連携

感想

- 実際にした企画を紹介して議論をしたため具体的に良かった。
- 初対面の人、年齢もバラバラな中で発言するのは勇気がいった。
- 大学図書館の可能性はとても大きいものと思った。
- 実際に話し合うことで同じ志を持った人と交流ができて良い刺激を受けた。

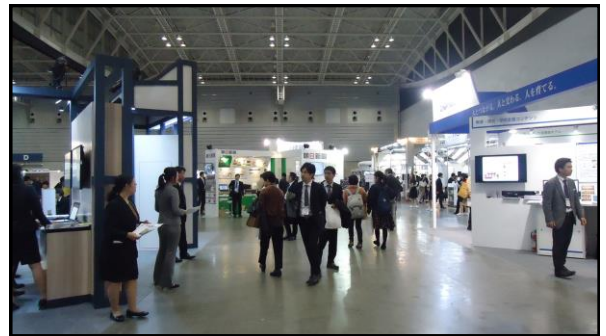


第18回図書館総合展

会期 2016年11月8日(火)～2016年11月10日(木)
 開場時間 10:00～18:00
 会場 パシフィコ横浜
 主催 図書館総合展運営委員会

図書館総合展は、図書館運営者・関連業界とコンタクトをとるのに最大かつ最良のイベントであるだけでなく、読書・学習・研究環境についての最新技術と知見が一堂に会する場です。昨今、図書館の機能が、まちづくりや教育や文化全般に寄与することを評価されているため、広く行政関係者、教育関係者、出版をはじめとするメディア・情報関連業を巻き込むイベントに成長しています。

図書館総合展HP (<https://www.libraryfair.jp/>) より



会場イベント①

◇ブース

商品・サービス紹介をする商業出展の他、研究の成果発表をする学術系の出展、活動をPRする公的機関・非営利団体の出展など。

◇フォーラム

期間中に約90枠が開催。今年から来年にかけてのトレンドをしっかりと抑えた必聴の内容が揃っている。

会場イベント②

◇ポスターセッション

研究者、学生、各種図書館、NPOなどが出展した80を超えるポスターを展示。

◇図書館へのおすすめ本

出版社が「これこそ図書館に入れていただきたい」と出展した“おすすめの本”を紹介。全国の出版社から約1600の多様な書籍が集まる。

ブース

大学
図書館



ブース

図書館

出版社



図書館・図書紹介コーナー



ポスターセッション





第一回全国学生協働サミット

◇フォーラム

11月10日（木）15:30～17:00 展示会場内特設会場

☞大学図書館における学生協働について、全国から学生・教職員が一堂に会し、意見交換を行う。議論（ディスカッション）することを目的とするのではなく、各参加大学が図書館と利用者の協働を考えるヒントを自大学に持ち帰れるような意見交換会とすることを目的とする。

◇交流会

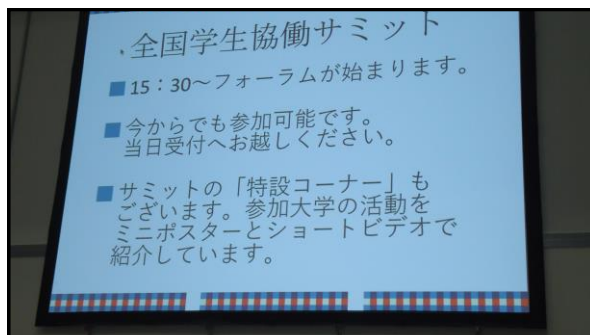
11月10日（木）17:00～ 展示会場内特設会場

☞フォーラム終了後、参加者同士で自由に交流する。

フォーラム参加大学

愛知大学名古屋図書館、跡見学園女子大学図書館、岩手県立大学メディアセンター、桜美林大学図書館、御家の水女子大学附属図書館、神奈川県立図書館、金沢星稜大学図書館、金城学院大学図書館、皇学館大学附属図書館、神戸市外国語大学学術情報センター、神戸松蔭女子学院大学図書館、島根県立大学短期大学部松江キャンパス図書館、島根大学附属図書館、十文字学園女子大学図書館、白百合女子大学図書館、榊山女子大学図書館、聖学院大学総合図書館、清泉女子大学附属図書館、十津川大学附属図書館、アカデミック・リング・センター、都留文科大学附属図書館、帝京大学メディアライブラリーセンター、天理大学情報ライブラリー、東京家政大学図書館、東京大学附属図書館、同志社大学図書館司書過程、鳥取大学附属図書館、名古屋学院大学学術情報センター、名古屋女子大学図書館、日本大学文理学部図書館、梅光学院大学図書館、広島工業大学附属図書館、広島修道大学図書館、北海道大学附属図書館、明星大学図書館、山口大学図書館、立命館大学図書館、流通科学大学附属図書館、ほか

（五十音順。10月29日時点。当日、40大学が参加。）



フォーラムテーマ

1. 「活動の目的は何か？ 目的を達成するための工夫は？」
2. 「図書館のサービスやリソース（とくにデータベースなど）をより多くの学生に、よりよく活用してもらうにはどうするか？」
3. 「図書館をもっと広く、深く知ってもらうためには、どのような広報・PR活動が有効か？」
4. 「活動を継続するためにはどうすればよい？ どんな工夫が考えられるか？」 ← 島根大学担当テーマ
5. 「活動してみて変わったことは何か？ よりよく変わるためには何が重要か？」

